

第9回こころんピック 競技実施要領（案）
（令和7年度沖縄県精神障害者ソフトバレーボール大会）

■ 原則 ■

本要領に定める以外は、同年度の（公財）日本バレーボール協会競技規則（6人制規則）によるものとする。

1 チーム

- （1）チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー・トレーナー各1名、選手12名以内とし、男女混合とする。
- （2）試合中は少なくとも1名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。

2 コート・ネットの高さと用具

- （1）コートの広さは、18m×9mとする。
- （2）ネットの高さは、2.24mとする。
- （3）使用するボールは、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周78±1cm、重量210±10g）とする。

3 競技方法

- （1）リーグもしくはトーナメント方式とする。
- （2）試合は、2セットを取った方のチームがその試合の勝者となる。
- （3）1セット25点のラリーポイント制とする。得点が「24対24」の同点となった場合、デュースを適用せず25点目を先取したチームをセットの勝ちとする。
- （4）第3セットのコート交代はいずれかのチームが13点先取したときに行う。
- （5）試合は、ワンボールシステムで行う。

4 服装

背番号は1番から12番までが望ましい。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。なお、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは規程のものとする。

5 リーグ順位の決定方法

（公財）日本バレーボール協会の定める「リーグ戦形式の順位決定方法」及び本大会の順位決定方法による。

- （1）勝率（総勝試合数÷総試合数）の大きいチームを上位とする。
- （2）セット率（総得セット数÷総失セット数）の大きいチームを上位とする。
- （3）得点率（総得点数÷総失点数）の大きいチームを上位とする。
- （4）直接対戦した場合はその勝敗で決定する。
- （5）以上の（1）（2）（3）（4）で決定しない場合には、当該チームの代表によるジャンケンで勝ったチームを上位とする。